

本紙調べ~第2回「エステティックサロンの利用状況に関する調査」結果発表

一般女性 1056 名に聞いた「エステサロンに通ったきっかけは？」 **エイジングケア目的のフェイシャル 74.4%** **「脱毛」に対するニーズも 54.8% で依然として高く**

本紙では、2015年4月上旬、20歳代から60歳未満の一般女性を対象に「エステティックサロンの利用状況に関する実態調査」を行った。エステサロンに通った経験が「ある」と答えた1056名にその目的を訊ねた結果、「フェイシャル(シワ・シミ・たるみ・肌改善)」が74.4%で最も多く、エイジングケアに対する関心の高さを裏づける結果になった。昨年9月に行ったアンケートと対比しながら今回の結果を検証する。

し、ほぼ同じ割合であることが確認できた。一方、前回は美白・シワ、シミのケアやリフトアップなどのエイジングケア関連項目を細分化して調査したが、それらを合算すると52.4%に達し、第2位であったが、今回調査では74.4%と約4人中3人が「フェイシャル」をきっかけとする結果になっている。

前回ならびに今回の調査結果から、一般女性がエステサロンに通うきっかけで注目すべきは、「エイジングケア」と「脱毛」であることがわかった。

また、前回との比較で大きく異なるのが第2位にランクインした「マッサージ」(56.0%)の躍進。前回調査で12.2%を占めた「ヘッドスパ」や15%の「バ

ストアップ」は今回少数意見にとどまり、「その他」に含まれる結果になったが、今回調査では「癒し」などを目的とした「マッサージ」が上位にランクイン

美容エステジャーナルの
 次回の発行は
 2015年4月28日です!

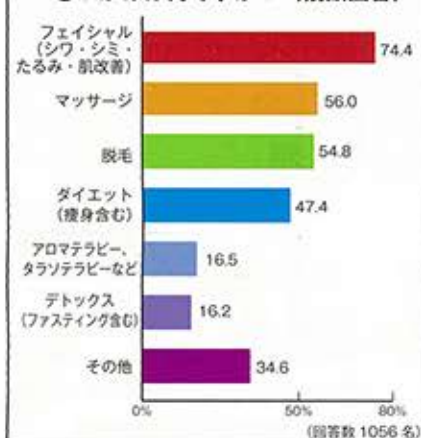
する結果となった。

エステサロンの人気メニューと思われる「ダイエット」については、前回の27.7%から47.4%と約20%増加する結果となった。数字的には大幅増であるが、前回調査では3位、今回は4位と安定した数字を残し、人気メニューであることの実証と受け取れそうだ。

前回に続いて注目していた「デトックス(ファスティング含む)」については、前回からそれぞれ大幅に伸びて16.2%を獲得するという結果になった。前は「デトックス(3.8%)」と「ファスティング(0.8%)」を合算してもわずか4.6%であったことから、大幅な伸びが確認できた。

【2面につづく】

Q1 エステサロンに通おうと思ったきっかけは何ですか？(複数回答)



に利用経験のある20歳代から60歳未満の一般女性に絞り込むことで、エステサロンの利用に関してどのような意識を持っているのかを明らかにすることを目的に実施した。

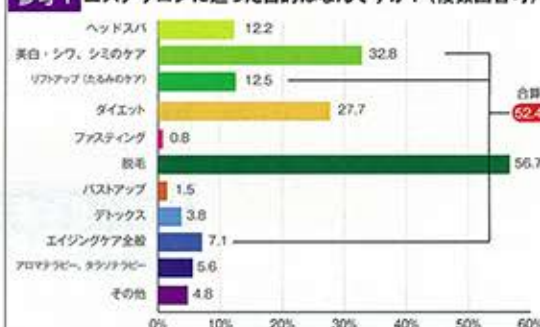
Q1で訊ねたのが、「エステサロンに通おうと思ったきっかけ」について。ここで最も多かったのが、74.4%にのぼった「フェイシャル(シワ・シミ・たるみ・肌改善)」。次に多かったのが、「マッサージ」で56.0%、「脱毛」54.8%、「ダイエット(瘦身含む)」47.4%、「アロマトラピー、タラソトラピーなど」16.5%、「デトックス(ファスティング含む)」16.2%と続く結果になった。

昨年9月下旬の調査結果を参考1として右に示したが、前回トップだったのが56.7%の「脱毛」。今回の結果でも「脱毛」は54.8%を獲得

エステティックサロンの利用目的について

今回の調査は、エステサロンに通った経験がある1056名を対象に実施。アンケート対象者を、実際

参考1 エステサロンに通った目的はなんですか？(複数回答可)



MFIP®

MFIP®とは、中間波新鋭パルスの中で、新鋭的にウルトラパルスのエネルギーを伝える事によって、エステティックサロンの行うタッピングのような体感でウルトラパルスの効果を与えます。

ウルトラパルス®

インサートパルス・Radio Frequency・EMSを同時に出力させることで肌の奥深くまで美容液の浸透をさせ、さらにリフトアップ効果を高めます。

◆MFIP®(中間波新鋭パルス)
 ◆ウルトラパルス®(インサートパルス・Radio Frequency・EMS)
 ◆LED(BLUE/415nm・YELLOW/590nm・RED/620nm)

ARTISTIC & Co.

〒501-6257 岐阜県羽島市穂積町平方10丁目80番地 ART OFFICE
 FREE DIAL 0120-656-959 TEL 058-397-0309 FAX 058-397-0373
 URL: http://www.artistic.co.jp/

JAAS(日本アンチエイジング学会)正会員
 AFAS(アジア美容アンチエイジング学会)正会員

ARTISTIC & Co. ×

Dr. Lin Joo-Hak
 Dr. Chanyo Watanabe
 Dr. Ina Barada
 Dr. Shuka Sumiyama